



# うもれ木

魚津埋没林博物館広報誌

第 8 号

発行日：平成10年3月31日

編集発行：魚津埋没林博物館

印刷：魚津印刷(株)

## ハイビジョン空間、あらわる



平成10年3月26日、ハイビジョンホールがオープンしました。

蜃気楼のきれいな映像を見たい！ という声にお応えしようと、博物館では平成9年11月から映像ホールの大改造をおこなってきました。

新しいホールでは、蜃気楼の映像とともに蜃気楼のしくみや美しい自然の映像がご覧いただけます。

### ホール概要

収容人数	120人
スクリーン	300インチ前面投射型
プロジェクター	9インチ×6管式
オリジナルソフト	蜃気楼～大自然のシンフォニー(約10分)
導入費用	2億1千万円(ハード・ソフト・改装合わせ)

## ハイビジョンホールは こんなホール

### ハイビジョンホール

木のぬくもりを活かした客席やステージ、フロントスピーカーボックスなど自然な素材を使い、吸音を兼ねたカーテンやロープに柔らかい白熱灯の照明を当て落ち着いた雰囲気を作り出しています。

カーテンやロープ、カーペットなど全体的なデザインは、海をイメージしたものになっています。

階段型の客席とフロアのベンチ、そして車椅子のスペースを合わせ、一度に120人が大画面のハイビジョン映像を鑑賞できます。



木の温もりが伝わる客席

### ハイビジョンシステム

まず目をひくのが300インチの大スクリーンです。300インチというのは対角線の長さで、1インチはおよそ2.5センチですから約7.5メートルになります。横幅は約6.6メートル、高さは約3.7メートルあります。

このスクリーンに映像を映すのが客席の中央にあるプロジェクター(映写機)です。赤、緑、青の光の3原色の投射管(ブラウン管)をもつプロジェクターが2台で一つの画面を映します。そのため、大きな画面でも明るい映像を映せます。

このプロジェクターに映像を送る機械は、ハイ



ハイビジョンビデオプロジェクター

ビジョンレーザーディスク(HDLD)、静止画ソフト再生装置などです。HDLDは、通常上映する番組を再生します。静止画ソフト再生装置は、あとでご紹介する静止画ソフト制作システムで作った番組を再生します。

### ところでハイビジョンて何?

ハイビジョンという言葉はよく聞くけど、何が違うの? という疑問を持った方も多いと思います。

ハイビジョンは、今までのテレビやビデオよりも高品質の映像や音声を提供するために開発されたシステムです。



300インチスクリーン



ハイビジョンのいろいろな特徴の中でも特に重要なのは、その映像の美しさです。映像の美しさを決める大きな要素は、どれだけ細かい部分まで表現できるか、ということです。従来のテレビ・ビデオ(N T S C方式といいます)もハイビジョンも、“走査線”という線を何本も並べて1枚の画面を作っています。そのため、この走査線の数が多ければ多いほど細かい絵が表現できるようになります。N T S C方式では、この走査線の本数が525本ですが、ハイビジョン方式では倍以上の1125本になり、映像の細かい部分まで再現できます。

ハイビジョンは、そのほかにも音声も4チャンネル(右、左、中央、後方)で臨場感のある音響が再現できるなど、優れた特徴を持っています。

### オリジナルハイビジョン番組 「蜃気楼～大自然のシンフォニー」

博物館では、このハイビジョンホールで上映する番組も同時に制作しました。この番組は、制作に11ヵ月をかけ、そのうち延べ2ヵ月近くにおよぶロケで撮影された貴重な映像を使用した、ほかでは見られない独自のものです。特に、夕日に輝く水平線(それ自体が蜃気楼になっている!)を大型船が蜃気楼になってどんどん変形しながら進んでいく映像は幻想的で、一見の価値があると思います。



船の蜃気楼(オリジナル番組から)



柔らかい間接照明

### ハイビジョン静止画ソフト制作システム

今回のシステムにはもう一つ、大きな特徴があります。

ハイビジョンの美しい映像を…と言っても、何年間も同じ番組ばかりではせっかくのホールが活かされません。しかし、オリジナル番組を作るには時間もお金も掛かるので、そんなに頻繁に番組を入れ替えることもできません。これは、ハイビジョンではない従来の映像でも同じことです。

そこで、なんとか番組を比較的短時間、低予算で、しかもハイビジョンの高画質を活かして自作できないだろうか、という希望を実現するのがこのハイビジョン静止画ソフト制作システムです。

このシステムでは、写真や絵などをコンピュー



静止画ソフト制作システム

タで取り込み、それに映像効果やナレーション、音楽などを加え、手作りの番組を1本あたり10万円以下で制作することができます。

このシステムで制作した映像を補助的な番組として、たとえば季節によって違う映像を上映したり、各種の講座や研修会などに使うことも可能です。

将来、このシステムが博物館、美術館などに普及すれば、制作したソフトの貸し出しや交換ができ、全国の博物館がもつ豊富な資料などを公開する一つの方法として、大きな可能性を持ったシステムといえます。



ハイビジョン機器

## お知らせ

### ●平成10年度の行事予定

#### ○博物館教室

- 4月25日(土) 天神山の歴史と自然
- 5月23日(土) 海浜植物と水鳥
- 7月11日(土) 洞杉と蛇石
- 9月26日(土) 沌滝と秋の花
- 10月24日(土) 紅葉と洞杉・蛇石
- 3月27日(土) 蜃気楼

#### ○企画展示

- 8月1日(土)～10月31日(土) 川の物語
- 1月2日(土)～3月31日(水) 魚津の花々



平成9年7月の観察会

## ご利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）
- 休館日 12月～3月の月曜日、祝日の翌日、年末年始（4月～11月無休）
- 入館料 ・大人（高校生以上）…510円 ・小中学生…250円
- 交通 ・JR北陸本線 魚津駅 } 下車1.5km (タクシー…5分)
- ・富山地方鉄道 新魚津駅 } (徒歩…25分)
- ・北陸自動車道魚津ICから3km車で10分

特別天然記念物 **魚津埋没林博物館**

〒937-0067 富山県魚津市釈迦堂814 ☎(0765)22-1049

